

平成23年度 静岡市教育センター事業報告会が行われました。

日時：平成24年2月6日（月）13:30～16:30

主な内容：

- (1) 全体会Ⅰ ①センター事業を進める中で見えてきた**静岡市の教職員研修の現状と課題**
②課題研究室報告「**静岡市における「小中連携」の取組に関する研究**」
- (2) 教科リーダーポスターセッション報告
- (3) 全体会Ⅱ ①長期研修員報告1「**子どもが目的意識をもって学ぶための学習展開の工夫**」
長期研修員 勝見 瑞穂（東源台小）
②長期研修員報告2「**自分の考えをもたせることのできる授業展開の工夫**」
長期研修員 望月 康裕（南中）
③平成22・23年度教科リーダー研修修了式
- (4) 講評

参加者
72名



お忙しい中、多くの先生方にご参加いただきまして、ありがとうございました。

静岡市の教職員研修の現状と課題

学び続ける教職員

本年度は、希望研修 参加者総人数が2,000人を超えました！
その増加要因は主に以下の2つです。

- ①現場の教職員のニーズにあった研修を行っています。
- ②校長先生方が、教職員の育成を目的に、積極的に参加を進めてくれています。

次に、研修の満足度に関しては、全希望研修参加者の94%が、「十分満足した・満足した」と答えています。

また、希望研修の中でも、「教科指導力向上・授業力向上に関する研修」への期待が高くなり、「特別支援教育」に対するニーズも増加傾向にあります。

→今後も、センターの希望研修の質・内容をより充実させます。

ぜひ、4月に配布予定の「希望研修一覧」をご覧の上、早目に年間計画を立ててください。

年間一人一回は、センター希望研修をご利用ください。
お待ちしております。



自ら研修会に足を運び、「**学びたい!**」という**教職員の研修意欲**が、本年度の希望研修の参加者数増加や満足度に表れています。



課題研究室報告

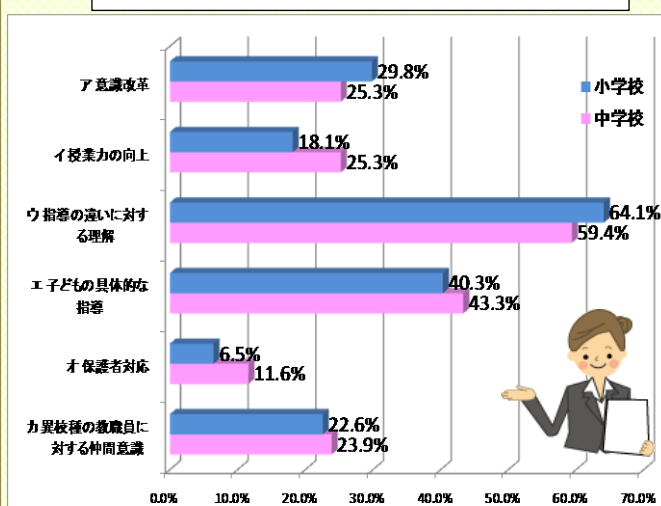
「**静岡市における「小中連携」の取組に関する研究**」の 中間報告をしました。

<報告の概要>

小中連携研修は本市の施策として取り組み始めた研修であるため、研修が「学校のニーズ」というより、どうしても「やらされ感」が先行しがちです。そこで、この研修によって「**私たちは何をすることができるのか**」「**それが子どもにどう役立つのか**」といった研修の**本質的な成果**を明らかにすることにより、「**小中連携研修が内発的な動機を伴った研修**」へと研修そのものが変化するのはないかと考えました。

そのため、まず小・中の先生方を対象に小中連携研修の成果や期待したいことを調べ、子ども・保護者を対象に中学へ進学する際の不安や実際に進学した後の様子を調べました。今後、この結果から、私たちが小中連携研修で目指していく**本質的な成果**を明らかにしていきたいです。

(設問)小中連携研修の成果は何ですか？



教科・領域別のポスターセッション



理科

図工

各教科20分で、提案授業研究会の時の説明（成果・課題）と意見交換を行いました。

全体会Ⅱ 長期研修員報告



勝見瑞穂研修員（東源台小） 望月康裕研修員（南中）

お二人の報告内容から、**研修の進め方や工夫**を知ることができ、**研修への意欲が湧いてきました。**

教科リーダー研修修了式



提案性の高い授業を行い、静岡市の教科指導力向上に寄与しました。



講評



教育センターが**学び続ける教職員の育成**に努めていることが分かり、本日の先生方の研修の姿からも、自ら学ぼうという意欲を感じることができました。

教育部 袴田博計参与

2年目 教科リーダー18名

★★★ 事業報告会アンケートより ★★★

皆様から頂いた貴重なご意見・ご感想やアンケート結果を真摯に受け止め、平成24年度からの研究事業に生かしていきたいと思います。アンケートに寄せられたご意見の一部を紹介させていただきます。



センター課題研究（近隣校研修）についての感想

【一般参加者より】

- 小中連携の目的が明確になって、「何をするのか」を共通理解できると感じました。近隣校研修にのぞむ時に、先生方に明確な意識をもってもらうことができると思います。
- 今後、近隣中学校との連携の仕方を見つめる良い機会となりました。
- 異校種の授業を気軽に見合えるとよいと思います。小学校の先生の板書や話し方は素晴らしいですし、中学校を見ると、小学校のうちに何を身に付けておいたらよいか分かります。

【教科リーダーより】

- どの教科とも9年間を見通した子どもの育成を念頭におきながら、教育活動を行っていくことの大切さを改めて感じました。
- 近隣校研修は、近くにあるながらもなかなか他校の先生と一緒にできない研修が出来るので、とても効果のある研修だと思います。
- 小学校と中学校の教員の意識に大きなズレがあることは知っていましたが、発表のように多面的な分析があって、よく理解することができました。しかし、それぞれの学校をとりまく環境の違いにより、ある程度仕方ないことと思われます。それを、研修を通じてうめていきたいです。

《あとがき》

本年度の教育センターの事業を報告しました。事業報告をまとめる中で、センター研修が静岡市の教職員の中に研修機会として位置付いてきていることを実感しました。これからも「**学び続ける教職員**」の育成を目指し、内容の充実した研修を企画運営していきますので、よろしくお願いします。